

分野	農業水利改良			事業番号	49	事業名	県営かんがい排水			
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	あずさがわがん 梓川 右岸	事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~		H29 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	排水路工 L=3,152m				H23年度末事業進捗率	0 %			
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0 %			
	H24年度実施内容	測量設計・用地買収 1式				用地補償費ベース	0 %			
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
	事業費計(千円)	1,650,000	0	0	70,000	1,650,000				
	財源内訳	国庫支出金	825,000	0	0	35,000	825,000			
その他		412,500	0	0	17,500	412,500				
県債		371,000	0	0	15,000	371,000				
一般財源		41,500	0	0	2,500	41,500				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点	
	必要性 (20)	受益面積	500ha以上	200ha以上500ha未満	200ha未満	A	3			
		施設危険度	人家等への災害が予想	農地への災害が予想	災害が予想されない		5			
		地域用水機能	地域用水機能を有する	地域用水機能有しない			10			
		小計					18			
	重要性 (20)	市町村計画での位置づけ	位置づけあり	位置づけなし		B	10			
		県農政の重要施策への取組み	2つ以上推進	1つ推進	取組みなし		3			
		設計上の環境配慮項目	2項目以上配慮	1項目配慮	配慮項目なし		1			
		小計					14			
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	B/C1.2以上	B/C1.1以上1.2未満	B/C1.0以上1.1未満	B	5			
		早期発現度(効果発現まで)	5年以内	6年以上10年未満	11年以上		3			
		地域特有の取組み	2項目以上	1項目	なし		1			
		小計					9			
	緊急性 (25)	用水不足又は排水不良	受益の50%以上	受益の30%以上50%未満	受益の30%未満	A	10			
		応急対策の実施状況	応急対策を実施中	応急対策を過去に実施	応急対策を未実施		8			
		維持管理費節減	50%以上	30%以上50%未満	30%未満		3			
		小計					21			
	計画 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	B	6			
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない		3			
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない		4			
小計					13					
費用対効果(B/C)		2.39		評価の合計			A	75		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本水路は昭和43年～47年にかけて圃場整備事業等で整備された水路であり、改築後38年が経過した現在、水路本体施設の老朽化が著しく、水路側壁の倒壊の恐れがある。また、本水路と同時に整備された圃場(259ha)の整備後作付計画については、水稻100%での計画としていたが、国策による水田転作等により雨水排水洪水量が増加し、豪雨時には既設水路は流下能力不足により、5年間に3回もの溢水被害が発生している。平成17年度より調査・地元懇談会が開催されると共に、関係機関による打合せ会議が開催され整備構想がまとまった。これにより、全延長2,900mの排水路整備を行い、排水路の機能改善を図り営農基盤を確立すると共に、民生安定を図りたい。								
	地域からの要望経緯	平成17年度に地域住民から及び平成18年度に梓川土地改良区より排水機能改善要望が行われている。								
	事業説明等の経緯	松本市から土地改良区(21.10.27)及び地域住民(22.12.13・14)、沿線地権者(22.12.20・21)への説明会を実施する。また、土地改良区総代会(24.3.10・17)において、受益者説明会を進めていく。								
	環境・景観への配慮項目	環境配慮制度対象予定箇所。								
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。								
	特記事項	特になし。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	排水路からの溢水による住宅地の浸水被害が発生しており、必要性、緊急性が高い。			政策評価課意見	必要性、緊急性が認められる。					